

家畜衛生便り



No.351 令和元年8月9日

徳島県家畜防疫衛生センター
西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
徳島県吉野川市鴨島町麻植塚
TEL. 0883-24-2029 FAX. 0883-24-1397

西部家畜保健衛生所 東みよし庁舎
三好郡東みよし町中庄
TEL. 0883-82-2397 FAX. 0883-82-4843

家畜保健衛生所ホームページ URL
http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014_022000090/

夏季休暇期間中における防疫対策の徹底を
お願いします！

アジア地域では口蹄疫，アフリカ豚コレラの発生が
みられていることから，これらの越境性疾病が侵入す
るリスクは極めて高い状況にあります。

畜産関係者の皆様には，改めて防疫対策に万全を期
していただきますようお願いいたします。

- 1 伝染病発生地域への渡航は可能な限り自粛しましょう。
- 2 病原体の持ち込みを防止するため，衛生管理区域に
必要のない人や物を持ち込ませないようにしましょう。
やむを得ない場合には，洗浄，消毒を徹底してくだ
さい。
- 3 家畜伝染病に関する情報を集めましょう。
- 4 家畜伝染病を広げないためには，早期発見・早期通報が
とても大切です。
毎日必ず家畜を観察し，少しでも異常がみられた時には，
すぐにかかりつけの獣医師や家畜保健衛生所に連絡しま
しょう。

本年5月には中国で口蹄疫の発生が確認されています！

発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外**の立入を制限しましょう。
- 農場に持ち込む**物品**や**出入りする車両**の消毒を徹底しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽**等を設置することにより、出入りする人の**靴底**の消毒を徹底しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これら国の**農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないように**しましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察**を行いましょう。

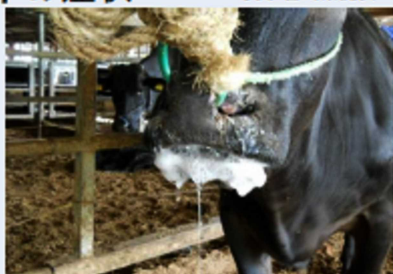


疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

～牛の症状～

写真：宮崎県提供

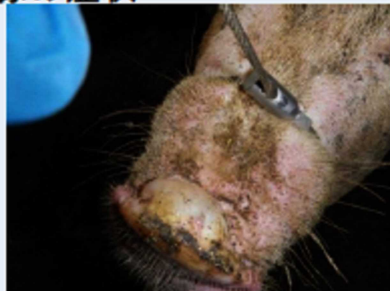


<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

写真：動物衛生研究部門提供



～豚の症状～



➡ **毎日必ず健康観察**し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所に連絡**しましょう。

牛では、**1頭のみに着目せず**、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。

豚コレラ，アフリカ豚コレラ発生予防対策の重要ポイント

① 野生動物対策

- ・ 防護柵等の設置（飼養衛生管理基準で義務づけられる方針）
- ・ 飼料保管場所等へのネズミ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- ・ 豚舎周囲の清掃，整理・整頓
- ・ 死亡家畜の処理までの間，野生動物に荒らされないよう適切に管理

② 人，物，車両によるウイルスの持込み防止

- ・ 衛生管理区域，豚舎への出入りの際の洗浄，消毒の徹底
- ・ 衛生管理区域専用の衣服，靴の設置と使用の徹底
- ・ 人，物の出入りの記録
- ・ 飼料に肉を含み，又は含む可能性があるときは，あらかじめ摂氏70度，30分間以上又は摂氏80度，3分間以上の加熱処理を徹底

③ 国際郵便物等による輸入禁止畜産物持ち込み防止

- ・ 外国人技能実習生等の受入農家の皆様は，支援外国人を通じて本国のご家族等から違反品を送らせないように周知をお願いします

飼養衛生管理基準の遵守に努め，農場へのウイルス侵入防止に万全を期してください。

豚コレラ

2018年9月、11月、12月、2019年1月以降も
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！
発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう！



写真出典：岐阜県

重症例は後肢麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣などの神経症状、皮下出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡。

アフリカ豚コレラ

2018年8月以降
中国で発生継続

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。
異状を発見したら直ちに通報しましょう！



写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱（40～42℃）、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

出典 農林水産省HP

渡り鳥が来る前に，高病原性鳥インフルエンザ防疫対策のさらなる徹底をお願いします！

① 人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・ 衛生管理区域，家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・ 衛生管理区域専用の衣服，靴，家きん舎毎の専用の靴の使用
- ・ 上記措置の記録

② 野生動物対策

- ・ 防鳥ネットの設置・修繕，壁の破損・隙間の修繕
- ・ 家きん舎周辺の清掃，整理・整頓
- ・ 上記措置の定期点検

③ 飼養衛生管理基準遵守の徹底

- ・ 死亡羽数増加の際には家畜保健衛生所に連絡

予防対策の重要ポイント





家畜の生産性を維持・向上する 暑熱対策に取り組みましょう！

暑熱により、採食量や受胎率の低下等が引き起こされ、家畜の生産性が損なわれることを防ぐためには、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりが大切です。

いろいろな暑熱対策

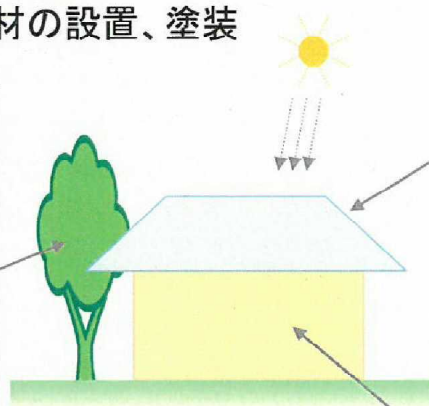
畜舎環境面から

○畜舎外から畜舎温度を下げる

- ・樹木や遮光ネット等の設置
- ・屋根・壁・床への断熱材の設置、塗装



ネットに植物を這わせる(兵庫県)



石灰の吹きつけ(宮崎県)



換気扇による送風(福井県)

○畜舎内から畜舎温度を下げる

- ・換気扇や扇風機での送風
- ・家畜への直接送風・散水

飼養管理面から



○密飼いを避けて、体感温度とイライラの低減

- ・毛刈りの実施(牛)

○飼料給与等の工夫

- ・冷たい水が十分に飲めるようにする
- ・涼しい時間帯に飼料給与するとともに、給与回数を増やす
- ・良質で消化率の高い飼料を与える
- ・必要に応じ、ビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う



畜舎環境、飼養管理における複合的な対策

取組の概要

地域名 : 新潟県
 経営形態 : 酪農
 飼養頭数 : 搾乳牛50頭

- 十分な飲水の確保→給水管を太くした
- 畜舎温度上昇の抑制
 - 井戸水を利用したスプリンクラー設置
 - トンネル換気の実施(牛舎壁面に換気扇設置)
- 採食量の維持
 - 1日6回に分けて配合飼料を少量ずつ給与(自動給餌機)
 - 盗食防止板の設置により飼料摂取量を適正にコントロール

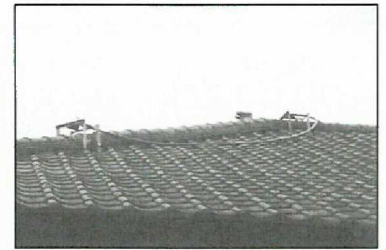
効果

○夏期の乳量の向上
 H20年8月は、前年同月に比較し、
 日乳量が**0.4kg/頭増加**

○分娩間隔の短縮
 19年 14.5ヶ月
 → 20年 13.9ヶ月 **0.6ヶ月短縮**

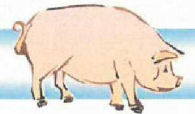


↑牛舎壁面の換気扇



↑牛舎屋根に設置したスプリンクラー

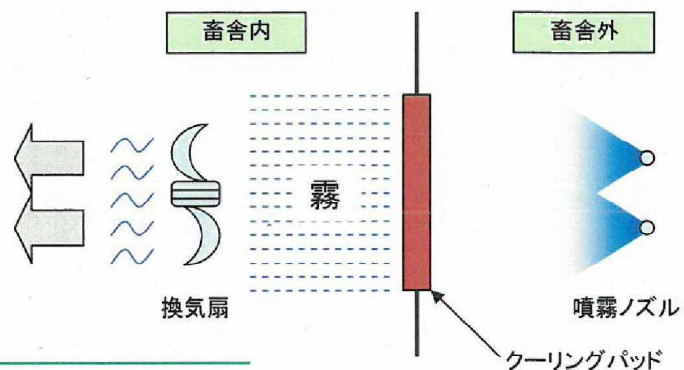
分娩豚舎へのクーリング・パッドの設置



取組の概要

地域名 : 愛知県
 経営形態 : 養豚
 飼養頭数 : 繁殖母豚350頭

- クーリング・パッドの外側に噴霧ノズルが付いており、畜舎内に設置した換気扇により、空気を引く。これによりパッドから抜けた霧が畜舎内に流入する(下図)。
- 噴霧ノズルは、12秒間噴射後、7秒間停止する間隙作動。
- クーリング・パッドは29°Cで作動するようにセットされ、作動時間は午前9時から午後6時まで。
- 畜舎中央に順送ファンを設置し、排気口まで風量を維持する工夫。



効果

○パッド作動時の**畜舎内温度**は、外気温と比較し、入気側・排気側とも**平均4°C低かった。**

牛舎屋根への石灰塗布



取組の概要

地域名 : 宮崎県
 経営形態 : 肉用牛
 飼養頭数 : 200頭

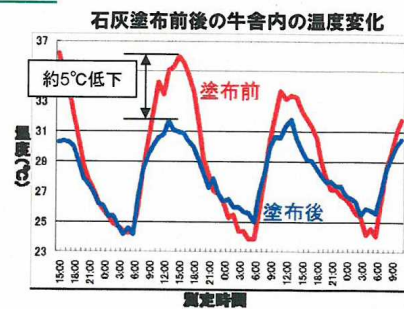


- 【塗布面積】 800m² (屋根材:ガルバリウム)
- 【作業人数】 5名
- 【材料】 石灰(牛舎消毒用)、水、動力噴霧機、電動ドリル、かき混ぜ棒、ポリバケツ(大)
- 【塗布方法】 石灰を水に溶かして石灰乳を作り、動力噴霧機にて屋根へ散布する
- 【作業時間】 3時間(実質塗布時間:2時間)
- 【塗布面積あたりコスト】 33円/m²
- 【注意点】 ① 石灰乳がダマにならないよう常にかき混ぜる(電動ドリルで攪拌)
 ② 長持ちさせるため、ムラなく丁寧に塗布する

効果

- 屋根裏温度の変化 約 15℃低下
- 牛舎内温度の変化 約 5℃低下

- ・夏場の採食量が増えた結果、枝肉重量が増加し、出荷成績の改善につながった
- ・夏場の飼養管理がしやすくなった



アカザを利用した鶏舎庇蔭(ひいん)



取組の概要

地域名 : 群馬県
 経営形態 : 採卵鶏
 飼養羽数 : 4,500羽

- 自作地の畑などに自生している雑草であるアカザを梅雨時に抜いてきて、すべての鶏舎(8棟)の東側と南側に移植。
- アカザは成長が早く、夏期には鶏舎屋根まで覆い、鶏舎内に日陰ができた。夏を過ぎると枯れるため、後処理も容易。
- 自生するアカザを用いるため、低コストで簡易。

- 【注意点】
 鶏舎内の風通し確保のため、アカザの下部の茎から出る枝や葉を切るなどの手入れが必要。

効果

- 夏期の死亡羽数が激減
 実施前(H19年)約700羽
 →実施後(H20年)約40羽



農林水産省 暑熱対策リーフレットより

<連絡先>

西部家畜保健衛生所

吉野川庁舎 0883-24-2029

東みよし庁舎 0883-82-2397

家畜保健衛生所は、休日・夜間も24時間対応しています。

第12回全国和牛能力共進会

会 期 令和4年10月6日（木）～令和4年10月10日（祝・月）
会 場 肉牛の部 鹿児島県南九州市知覧町
（株）JA食肉かごしま南薩工場

徳島県からは、肉牛の部，出品区第8区（去勢肥育牛），24カ月未満の出品となります。

出品牛は，令和元年12月末までに人工授精もしくは受精卵移植を行い，令和2年10月7日以降の分娩牛が対象となります。

なお，今回の種雄牛は，「福之姫」を主とすることとなりました。

出品に向けての準備，ご協力をお願いします。

